平成 29 年度

まちづくり円卓会議報告書

（部活「地域デビューわっはっは！」）

西東京市市民協働推進センター

目　次

１．要　約　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．まちづくり円卓会議

2.1　開催状況　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

2.2　まちづくり円卓会議の様子　　・・・・・・・・・・・・・３

2.3　議論の記録　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

2.4　アンケート　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

３．その他

まちづくり円卓会議　メンバー紹介　　・・・・・・・・・・・６

資料

（敬称略）

１．要　約

「まちづくり円卓会議」は、平成 24 年度の新規事業として地域連携促進事業の中で開始、以降重点事業として継続実施してきました。

平成 24 年度から平成 25 年度にかけて、テーマを「障がいのある人もない人も分けない居場所づくり」として開催し、農福連携の居場所づくりの活動を実施したり、会議メンバーを中心に、自主的に活動するグループ（ノーマライゼーション西東京の会）の誕生にも繋がりました。

平成 26 年度、平成 27 年度には、2 つ目のテーマとして「子どもの声に向き合うために～今私たちにできること～」を取り上げ、会議メンバーが関わっている「放課後＠カフェ」を後押しし、会議メンバーを中心とした自主的に活動するグループ形成（西東京子ども放課後カフェ）に繋がり、現在は「放課後＠カフェ」は市内 3 カ所まで広がっています。

平成 28 年度には、公民館の生涯教育とゆめこらぼの市民活動支援を連携し、相互に循環・協働する動きにつなげる試みとして、初めて公民館の連続講座と連携・共催で「まちづくり円卓会議」を開催しました。柳沢公民館の「いきいき超高齢社会チャレンジ講座」全 7 回の講座の 6 回目にまちづくり円卓会議 1 回目を行いました。2 回目のまちづくり円卓会議では「70 歳からの地域デビューについて考える」とテーマを絞り、より具体的な提案をもとに話合いを実施し、具体的な方向性について会議メンバーだけでなく参観者とともに合意することができました。

平成 29 年度は、昨年度から継続し、70 歳代からの地域デビューをテーマに、柳沢公民館と連携・共催でまちづくり円卓会議を実施しました。会場の参観者との意見交換や地域デビューに関するアンケートなど多様な意見を反映した話し合いを進めることができました。そして、まちづくり円卓会議での話し合いを公民館講座に繋げ、新たな地域活動の担い手として繋がる方向性の試みをスタートさせることができました。

２．平成 29 年度のまちづくり円卓会議

2.1　開催状況

Ⅰ　第 1 回まちづくり円卓会議

(1)日時・場所：平成　29 年 6 月 10 日(土)　　柳沢公民館　視聴覚室

(2)参加者：ファシリテーター：熊田博喜（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科　教授）

会議メンバー　6 人（以下のとおり）

板　書：対話ラボ　2 人

参観者：22 人

(3)会議メンバー：青山早岐（柳沢公民館講座受講生：柳沢公民館保育付きママサークル所属）、有馬将由（柳沢公民館講座受講生：NPO 法人終活支援センター）、町田栄一郎（柳沢公民館講座受講生：三幸自動車株式会社）、妻屋良男（西東京市社会福祉協議会）、中村眞弓（西東京市西原町地域包括支援センター）、横山桂樹（西東京市健康福祉部高齢者支援課）

(4)概要：昨年度のまちづくり円卓会議を継続した話し合いを行った。「地域デビュー」について考えている当事者市民や初めてまちづくり円卓会議に参加する参観者とともにまちづくり円卓会議を始めた。まず「地域デビュー」の定義について意見交換を行い共有し、次にどのような人が地域デビューできていないのか、なぜできないのか、どうしたらできるのかについて話し合った。参観者と意見交換した内容を反映した話し合いが進められた。

Ⅱ　第2回まちづくり円卓会議に向けての事前会議

(1)日時・場所：平成29年6月27日（火）　ゆめこらぼ　サロンコーナ

(2)参加者：ファシリテーター：熊田博喜（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科　教授）

会議メンバー　5人（青山早紀、有馬将由、町田栄一郎、妻屋良男、横山桂樹）

(3)概要：第1回目に実施したまちづくり円卓会議のアンケート結果を受けて、次回の円卓会議のコンセプトや進行方法についての打ち合わせを行った。

Ⅲ　第2回まちづくり円卓会議

(1)日時・場所：平成　29年7月1日（土）柳沢公民館　視聴覚室

(2)参加者：ファシリテーター：熊田博喜（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科　教授）

会議メンバー　6人（青山早岐、有馬将由、町田栄一郎、妻屋良男、中村眞弓、横山桂樹）

板　書：対話ラボ　2人

参観者：23人

(3)概　要：地域デビューに関するアンケート結果をもとに、地域デビューの場や地域デビューのきっかけについての内容を共有した。地域デビューできない人については、知り合いがいない系、情報がない系、仕事をしている系の３つのパターンに分けて意見交換を行った。グループごとに話し合った多様な意見を共有したうえで、どのように公民館講座に繋げていくかについて次回話し合っていくこととなった。

ⅳ　第3回まちづくり円卓会議に向けての事前会議

(1)日時・場所：平成29年7月12日（水）　ゆめこらぼ　サロンコーナ

(2)参加者：ファシリテーター：熊田博喜（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科　教授）

会議メンバー　5人（青山早岐、有馬将由、町田栄一郎、妻屋良男、横山桂樹））

(3)概要：第2回目のまちづくり円卓会議でのグループで行われた意見交換の内容を共有し、次回の円卓会議の進め方を話し合った。また、今後実施する公民館のまちづくり講座と部活「地域デビューわっはっは」及びまちづくり円卓会議メンバーが緩やかに繋がり、可能なことに関わっていくことを共有した。

ⅴ　第3回まちづくり円卓会議

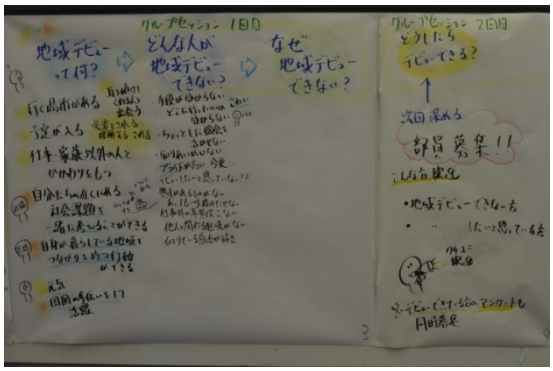
(1)日時・場所：平成　29年7月15日（土）　　柳沢公民館　視聴覚室

(2)参加者：ファシリテーター：熊田博喜（武蔵野大学人間科学部社会福祉学科　教授）
会議メンバー　6 人（青山早岐、有馬将由、町田栄一郎、妻屋良男、中村眞弓、横山桂樹）
板　書：対話ラボ　2 人
参観者：18 人

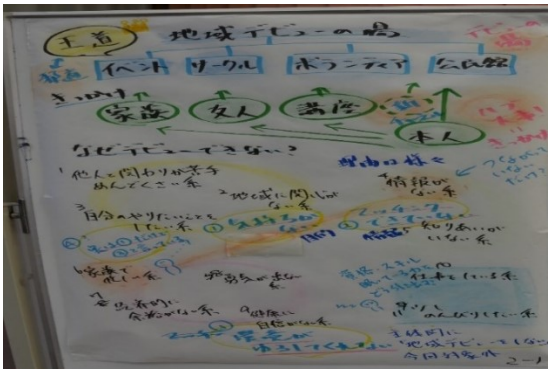
(3)概　要：部活「地域デビューわっはっは」で話し合ってきた地域デビューの意味や目的、対象者について再確認し、これまでの話し合いから「地域デビュー」に繋がる重要なポイント３つについて話し合いを進めた。地域デビューの意味・目的を明確にすること、ハードルを低くすること、情報提供について意見交換を行い、話し合った結果は公民館のまちづくり講座の企画に活用されることとなった。「企画段階から関りたい」、「講座に参加したい」、「講座を活用したい」など積極的な意見あり、具体的に地域の担い手づくりに繋がった。

2.2　まちづくり円卓会議の様子

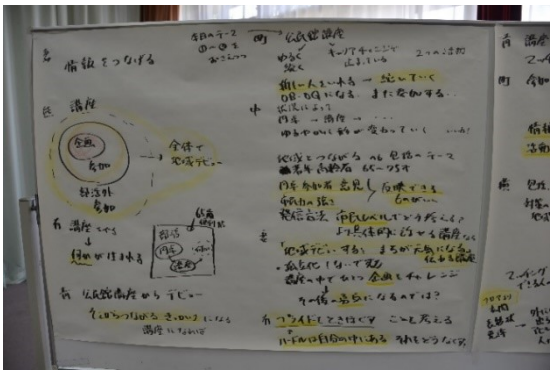
6 月 10 日



7 月 1 日



7 月 15 日



2.3　議論の記録（成果と課題）

成　果

・まちづくり円卓会議　部活「地域デビューわっはっは」は、毎回新たな参観者があり、多世代で話し合いを行えた。また、「地域デビュー」について考えている 40 代～70 代の男性数名の参観者があった。

・地域デビューに関するアンケートデータをもとに、地域デビューのきっかけや地域デビューの場についてや地域デビューできない人についてなどの意見交換ができた。

・まちづくり円卓会議メンバーや参観者とともに、地域デビューの意味や目的を明確にすることができた。

・地域デビューにはハードルの低さが必要なこと、情報提供に工夫が必要なことなどのポイントが明確になった。

・まちづくり円卓会議での話し合いを活かした公民館のまちづくり講座を進めていくことになり、企画段階から積極的に関われるように市民意識を向上することができた。

・参観者は、今後企画される公民館講座を通して繋がる地域活動の担い手となった。

・ゆめこらぼと柳沢公民館が連携し、新たな地域活動の担い手として繋がれる試みをスタートさせることができた。

課　題　（積み残した課題）

・地域デビューに関心のある市民は存在するものの、直面した課題を明確にしきれなかった。

・多様な意見をふまえて、話し合いを進めていくには、これまで話し合ったことについての合意が必要だが、話し合いの時間が不足気味になり、予定どおりには話し合いが進められなかった。

・柳沢公民館の企画する講座に関われるようにするものの、部活「地域デビューわっはっは」とまちづくり円卓会議メンバーの関係に曖昧さが残った。

・3 回の会議の中で、課題解決の具体策を明確にすること。

2.4　アンケート

６月 10 日参観者 22 人中 15 人回収（自由記述　抜粋）

・西東京市地域サポートの方から、色々活動を教えていただき、とても勉強になりました。

・ハードルの低い地域活動を知ることができて良かった。初めての参加でしたが、他の方とお話しもできてよい時間を過ごしました。

・今日のこの講座がまさに地域デビューと言う 70 歳代の方や、定年後に地域で活動したいという 50 歳代の方も来ていて西東京の底力を感じました。今後地域デビューする方が増えてシニア世代が元気に活躍する明るい町になったら良いなと思います。

７月１日参観者 23 人中 18 人回収（自由記述　抜粋）

・カテゴリー別に〇〇の人は「〇〇」したらよいのではないか、ということを具体的に話し合えてよかったです。

・この会議で、地域デビューと言っても、いきなり、サークルやボランティアに参加すると言うことでもなく、小さなご近所の付き合いからはじめるのも１つの方法かなと思いました。

・「王道だけでなく邪道もあって良い」…重要な視点だと思いました。放っておいても参加する人とそうでない人のギャップを埋めるヒントの１つかも。

・「やめる自由、参加しない自由の担保」→住まいはカンタンに変えられないので、この保障は大事だと思いました。

７月１５日参観者 18 人中 16 人回収（自由記述　抜粋）

・地域デビューを誘う方の人になるか、デビューする人になるかによって関わり方が違うと思うのですが、さて、自分はどっちの人になるのかな？と考えています。

・地域デビューの必要性を考え直した。後期高齢者真っただ中にいる自分が 3 年後、5 年後 10 年後、一人になった時、不安を抱えず孤立せず健康な体と精神でいられると思った。

・伝えていくこと、自分にできることをしていくこと、一人ではなく皆で協力してやっていくこと、改めて大事だと感じました。

・円卓会議というあり方は興味深く思えました。これまで知人ではなかった同志が顔を見える場で集まれました。この様な活動や、その広報面、施設面に市の比重が増すよう心から願っています。

３．その他

◆まちづくり円卓会議　メンバー紹介

ファシリテーター

グラフィックファシリテーション

会議メンバー

青山　早岐
（あおやま　さき）

＊練馬区から西東京市へ越してきて９年になります。
　下の子が幼稚園に入園したのを機に地域活動に参　加してみようとの想いから柳沢公民館のまちづくり講座に参加しました。
　高齢社会の今、子育て世代だからこそ出来ることがあるのではないかと思い模索中です。
　西東京市の現状やこれから先の未来が少しでも明るくなることを夢見ています。
　よろしくお願いします。

＊西東京市在住８年。二児（７歳、４歳）の母。
　柳沢公民館保育付きママサークル所属。

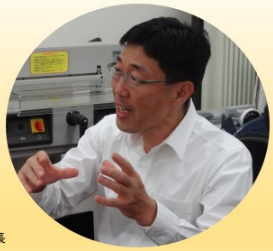
NPO法人終活支援センター
有馬　将由
（ありま　のぶゆき）

・鹿児島県出身　1937年生まれ　80歳
・大学を卒業後、商社に入社。
・1979年、42歳で創業　公園遊具の企画・製造を始める。（2003年 会社閉鎖）
＜現況＞
・NPO法人終活支援センター　代表
・豊かな老いじたくを考える会　代表
＜新しいことを始めるのが好き＞
・シニアかわら版「きらっとシニア」を発刊
・第一回「お父さんお帰りなさいパーティ」を実施
・仙人の家で「歌声喫茶」を主催
・「お別れの会」を企画・主催
・「おおぞらカフェ」「サルビアカフェ」を実施

西東京市社会福祉協議会
妻屋　良男
（つまや　よしお）

社会福祉法人 西東京市社会福祉協議会

福祉活動推進課 課長補佐
兼 地域福祉推進係長



西原町地域包括支援センター
中村眞弓
（なかむら　まゆみ）

西原町地域包括支援センター
主任介護支援専門員

自慢　職員の入れ替わりが、とってもすくないこと。
目標　「広い意味での予防、地域との協働、地域の声をつなげる」こと

西東京市での仕事は17年過ぎました。
仕事の目標　「地域の高齢者全員とお知り合いになること」
要介護２認知症の93歳から、4歳までの4世帯家族。「楽しい生活」をおくることが目標です。

三幸自動車株式会社
町田栄一郎
（まちだ　えいいちろう）

所　　属　三幸タクシー（三幸自動車株式会社）
　　日本公認会計士協会

自己紹介　田無駅前でタクシーを始めて61年
　　ユニバーサルタクシーを始めて10年
　　オーダーメイドツアーを今年開始
　　西東京市地域公共交通会議委員
　　同有償ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ輸送運営協議会委員

西東京市高齢者支援課
横山桂樹
（よこやま　けいじ）

昭和58年保谷市福祉部老人福祉課に配属
市民部　健康課主幹
子育て支援部　児童青少年課長
市民部　市民課長
健康福祉部　高齢者支援課長

◆資　料

７月１日

部活「地域デビューわっはっは！」

活動報告
～アンケート調査をながめて～

2017.7.1 部員　熊田博喜

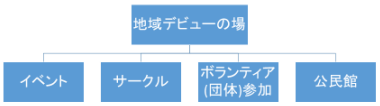
第１回部活（円卓会議）後の「地域デビューのアンケート」
こんな内容を質問しました

地域デビューを進めるために、既に地域デビューされている皆様への質問
「地域デビュー」はどのような場でしたか
どのようなことがきっかけで地域デビューを始めましたか
「地域デビュー」をしてよかったことを教えて下さい
「地域デビュー」をして、地域とのつながりに変化があれば教えて下さい
多くの方が「地域デビュー」し、暮らしやすい地域を実現するための質問
あなたの周りで「地域デビュー」されていない方はいらっしゃいますか。どのような理由があると思われますか
具体的に「地域デビュー」に誘いたい方がいらっしゃいますか。誘いたいと思っている理由は何ですか
どんなことなら「地域デビュー」に繋がると思いますか。
地域デビューの障害と思われる「面倒、恥ずかしい、怖い」をどうすれば克服できると思いますか
地域で活用でききる資格や特技はどのようなことだと思いますか

赤字の項目に注目して整理してみました

第１回部活（円卓会議）後の「地域デビューのアンケート」

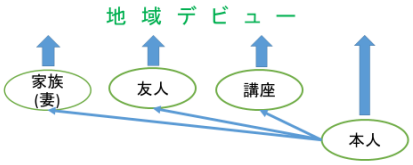
地域デビューの「場」



特に目新しいデビューの場の回答はなく、王道の「場」が中心でした

第１回部活（円卓会議）後の「地域デビューのアンケート」

デビューのきっかけ



地域デビューは「本人が直接」以外に、「家族(妻)」「友人」「講座」の仲介がありました

第１回部活（円卓会議）後の「地域デビューのアンケート」

どのような人が「地域デビュー」できていないか

パターン(こんな人)	勇気が内容
他人との関わりが苦手・めんどくさい系	人と群れるのが嫌い。人との交流が煩わしいなど
地域に関心がない系	他にやりたいことがある
自分のやりたいことをしたい系	自分のやりたいことが「地域」にない。趣味の時間に重きをおく。
情報がない系	地域デビューの情報がつかめていない
知り合いがいない系	仕事一筋で地域に知り合いがいない。詳しいことが分からない
家族で忙しい系	親の介護。子どもの世話。夫の世話
経済的に余裕がない系	地域デビューのお金がない
勇気が出ない系	人と話すのが苦手。地域のマナーに慣れていない。
健康に自信がない系	高齢のためしたくてもできない
仕事をしている系	仕事をしていて地域の活動に時間が取れない。
少しのんびりしたい系	仕事(家事)が一段落し、一息つきたい

地域デビューできていない人にはいろいろな「事情」があります

第１回部活（円卓会議）後の「地域デビューのアンケート」

今回の「円卓会議」では

パターン(こんな人)
①他人との関わりが苦手・めんどくさい系
②地域に関心がない系
③自分のやりたいことをしたい系
④情報がない系
⑤知り合いがいない系
⑥家族で忙しい系
⑦経済的に余裕がない系
⑧勇気が出ない系
⑨健康に自信がない系
⑩仕事をしている系
⑪少しのんびりしたい系

【関心はあるが、「地域デビュー」できない方に】
のデビューの方法を
A) 誰が【ハブ】
B) どのように【方法】
C) どこに【場】
D) どのような内容で【コンテンツ】
を「マニュアル風」に考えて、部活として「デビュー大作戦」を考えるのはいかがでしょうか(第3回円卓会議)

今回の「地域デビュー」対象から外して考えても良いのでは

7 月 15 日

2017年度　まちづくり円卓会議

部活「地域デビューわっはっは」

西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ

日　時：2017年7月15日（土）

場　所：柳沢公民館　視聴覚室

昨年度の経緯

柳沢公民館（9月29日～11月10日）と連携して実施

「みんなで考えよう！わたしたちの未来　いきいき超高齢社会　チャレンジ講座」

地域デビューでアクティブ層へ

アクティブ層（2割）｜潜在アクティブ層/潜在非アクティブ層（6割）｜非アクティブ層（2割）

生涯学習 ⇄ 連携 ⇄ 市民活動

まちづくり円卓会議（第1回11/3、準備会12/6、第2回1/28、フォローアップ3/23）

「70歳代からの地域デビューを考える」をテーマに
まちづくり円卓会議を開催

＜会議で出た対応策＞

案1：潜在アクティブ層がデビューできる市民大学を開催する

案2：地域に出て来ない・出て来られない人のニーズ調査をする

多世代が参加し楽しいデビュー

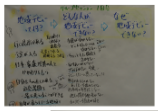
部活「地域デビューわっはっは」

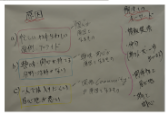
今年度のまちづくり円卓会議の模様

多世代の人がわいわい話し合って、楽しく地域デビューできる部活

第1回（6/10開催）

地域デビューってどんなこと？
どんな人が地域デビューできないのか？
なぜ、地域デビューできないのだろうか？
どうしたら地域デビューできるのか？
⇒アンケート（参観者）
・地域デビューの場
・地域デビューのきっかけ
・地域デビューしていない人は





今年度のまちづくり円卓会議

第2回（7/1開催）

地域デビューアンケートから

・地域デビューの場：イベント、サークル、ボランティア、公民館　（いわゆる"王道"の場）
・地域デビューのきっかけ：本人、家族、友人、講座　（仲介者の必要性）
・地域デビューできていない人は・・・
　知り合いがいない系、情報がない系、仕事をしている系など

地域デビューできていない人のパターンに分かれて意見交換

⇒会議後、意見交換の内容を整理すると、
①地域デビューの意味・目的をもっと明確にする必要がある
②地域デビューできるには、ハードルの低さが重要である
③情報提供が必要である
ということが重要なポイントであることが浮き上がった。